

リスク管理

当社では、リスクを「会社運営・業績・株価などに重大な影響を及ぼす可能性のある事項」と捉え、重要なリスクを識別し、対策を検討しています。ここでは代表的なリスクを2点取り上げます。

自然災害リスクへの活動

南海トラフ地震など大規模な災害に備えて、全社員を対象とした避難訓練を昼勤と夜勤で実施しています。
地震が発生した直後を想定した対策本部要員を対象とした訓練を実施することにより、自ら率先し行動できる危機管理能力を

もった本部要員を育成し、2023年度からは発災後から生産復旧へつなぐ各部の役割を明確化し、その訓練も実施し強化を進めています。



対策本部・屋内避難



野外救護所



PHV給電+自家発電訓練

火災リスクへの活動

火災が発生する可能性のある特殊な工程を保有する職場では、半導体製造、鋳造工程、塗装工程、実装工程の4つの重点分野ごとに組織された専門委員会が、年間活動計画に基づき災害リスクの低減活動を推進しています。役員・監査役による専門委員会活動の定期監査を実施して『災害を発生させない職場

環境整備と人財の育成』に積極的に取り組んでいます。
一昨年よりトヨタ自動車株式会社の防災道場「考動館」の見学、社内防災道場を活用した、防災人間づくりを実施し「火災ゼロ職場の実現」をめざしています。



生産復旧訓練

行動規範に基づき、自然災害をはじめとした緊急事態を想定し、国内全工場において生産電力の復帰訓練、被災した生産設備の修復訓練、取引先さま連携を想定したバックアップ訓練などを有事の際に活躍していただく方々を対象に毎年、計画的に実施。訓練では役員を筆頭に会社全体の危機意識を高めていきます。

- 大規模地震発生時の
行動規範
- 1 人道支援(人命第一、救助)

2 被災地の早期復旧

3 自社の業務・生産復旧



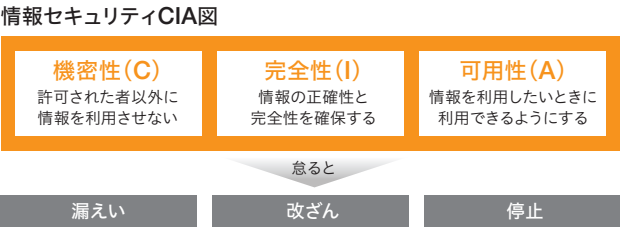
未然防止活動

働く人の命を守るため、避難経路の安全確保を最優先に減災対策を推進しています。避難経路沿いの生産設備はアンカー固定による転倒防止を実施し、モニターやコピー機、キャビネットなど身の回りの備品においても転倒・滑り対策を徹底することで人を守る職場づくりを実現しています。あらゆる緊急事態に対し事業を止めない(=お客さまにご迷惑を掛けない)ため、現在は新たな非常用電源増設や生産設備の減災対策を推進しています。



情報セキュリティ

「会社情報」「得意先さま・お客さま情報」を情報漏えいやサイバー攻撃などの脅威から守るためセキュリティ強化を推進しています。インシデント(事件・事故)の発生は避けられないことを前提に、管理体制の構築、運用改善に取り組んでいます。



情報セキュリティポリシー

- 1.情報セキュリティを重要な経営課題として捉え、情報セキュリティの管理体制を構築したうえで、情報セキュリティ活動に継続して取り組みます。
- 2.情報セキュリティリスクを評価・分析し、人的・組織的・技術的・物理的に適切なセキュリティ対策を実施します。
- 3.情報セキュリティについての教育および訓練を継続的に実施し、全ての社員の情報セキュリティレベルのさらなる向上につとめます。
- 4.情報セキュリティインシデントが発生した際には、関係各位に迅速に報告したうえで、被害のさらなる拡大を抑制するよう初期対応を実施するとともに、原因を究明し、適切な再発防止策を講じます。
- 5.管理体制やルールの遵守状況、対策の有効性など、情報セキュリティに係る取り組み全般を定期的に点検し、継続的な是正・改善活動を実施します。



脆弱性監視・インシデント対応要領制定

企業の社会的責任の一つとして、情報セキュリティ対策を徹底することで当社が保有する情報資産を守っていきます。情報を利用・活用することで情報提供者の権利や利益などを損ねる

ことがないようにリスク想定を行い、ルール策定や管理・運用体制の構築などガバナンス強化を推進します。

